



山梨大学
地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成27年4月28日
国立大学法人 山梨大学

平成27年度事業計画：富士山防災へのICTの適用（FS）

【事業の概要】

様々なハザードや車、人の動き、通報情報を高密度にセンシングし、分析することによって、観光客や登山客へ行動を促すアラート情報を創出するアラートシステムの構築のためのフェジビリティ・スタディーを行う。

- (1) 対象は富士山火山であり、対象地は富士吉田市など。
- (2) 噴火に関わる物理現象のみならず、人や車などの位置や行動等に関するセンシングの対象、条件、技術の整理を行う。
- (3) 適用可能なWiFiの組み合わせと運用条件について整理する。通信実験の可能性あり。
- (4) 来年度に新規事業（共同研究）まで展開できることを目指す。

【センター内での役割分担】

- (1) 県庁の役割：意見交換会に参加。富士山火山防災の現状、研究の情報提供（富士山科学研究所、県土整備部砂防課、防災危機管理課）。
- (2) 市町の役割：意見交換会に参加（富士吉田市）。
- (3) 大学の役割：意見交換会の運営。研究情報提供。